

## 防衛省によるイージス・アショアに関する説明について

平成30年6月6日  
総務課

秋田市の陸上自衛隊新屋演習場をイージス・アショアの配備候補地としたこと等について、防衛省から説明を受けたので、その概要を以下のとおり報告する。

### 1 説明の日時

平成30年6月1日（金）午前9時～9時40分

### 2 会場

県庁特別会議室

### 3 出席者

#### （1）防衛省

福田防衛大臣政務官、防衛政策局戦略企画課長、陸上幕僚監部防衛部長、東北防衛局長、東北防衛局企画部長

#### （2）県・秋田市

知事、市長、堀井副知事、石井副市長、県総務部長、市総務部長

### 4 防衛省による説明の概要

#### （1）イージス・アショアの必要性

北朝鮮が日本を射程に収める弾道ミサイルを数百発保有していることなどから、防衛能力の抜本的な向上を図るため、防衛省として新たにイージス・アショア2基を導入することとした。

#### （2）配備候補地の選定

以下の5点の理由から、秋田市の陸上自衛隊新屋演習場を配備候補地として選定した。

- ①日本全域の防護のため、北と西に2基をバランス良く設置できる日本海側の地域
- ②レーダーの障害となる山など遮蔽がない場所
- ③広く平坦な敷地を確保できる場所
- ④電気・水道等の安定供給が見込める場所
- ⑤速やかに配備できる自衛隊施設がある場所

### (3) 適地調査の実施

今後、公告を行った上で、本年夏以降に地質・測量調査や電波の調査を実施したい。

## 5 質疑

知事及び市長から以下のような質問・要請を行ったが、その場での回答はなく、後日文書により回答をもらうこととされた。

### (1) 知事からの質問等

- ①北朝鮮情勢が変化すれば、配備について再検討するのか。
- ②今後の調査で決定的な不具合がある場合、候補地が変更されることがあるのか。
- ③新屋演習場は、主要道路、住宅密集地、スポーツ施設・公共施設等と直に接しており、レーダーが出す電磁波による人体への影響、テロや基地内の事故などに対する住民不安が生じていることから、地域住民に対し科学的かつ丁寧な説明をしてほしい。
- ④迎撃ミサイルやレーダーが変われば、演習場の活用方法や演習場内の配置等が変わる可能性があることから、仮に配備する場合には、調査から建設着工直前まで、各段階における情報公開と綿密な協議が必要と考える。

### (2) 市長からの質問等

- ①市民の健康に対する影響についても調査し、データも含め丁寧な説明をお願いします。
- ②調査の公告実施前に説明会を開催するなど、地域住民の不安を払拭した上で調査に入るようにしてほしい。

## 6 防衛省による説明後の対応

### (1) 説明会開催の申入れ

知事と市長との連名で、6月5日（火）に東北防衛局に対し、適地調査の入札公告前の説明会の開催について申し入れを行った。

### (2) 説明内容の周知

県ホームページにおいて、防衛省による説明及び質疑の概要を公表する。

### (3) 詳細質問書の提出

説明会での質疑に対する防衛省の回答を踏まえ、今後、疑問が残る点等について詳細な質問書案を作成し、県議会及び県民からの意見も念頭に置きながら、改めて防衛省に対し提出する。

### (4) その他

防衛省に対しては、引き続き、情報の公開と住民への丁寧な説明等を要請していく。